

事務事業名	源花壇咲く咲くプロジェクト協働事業		所属部局	農林商工部		単位番号	6232										
			所属課室	みどり自然課		課長名	戸栗 香										
	☐ 実施計画事業		所属担当	花とみどりの推進		担当者名	藤巻 和彦										
基本政策	基本計画	III	うるおいと利便性のある都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目						
政策	13		都市空間の整備	事業区分	01	一般	0	8	0	4	0	6	0	2	0	1	0
施策	21		安らぎ空間の整備		☐ 国の制度による義務的事業	☐ 施設等維持管理事業											
					☐ 県の制度による義務的事業	☐ 補助金交付事業											
					☐ 市の制度による義務的事業	☒ その他の事業											
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 年度)		期間限定複数年度 (年度)	法令根拠	山梨県緑化計画 南アルプス市緑の基本計画												
事務事業の概要	事業の内容…期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載			事業費の主な内訳 (22年度)													
	★源花壇咲く咲くプロジェクト協働事業			項目(細節) 金額(千円) 項目(細節) 金額(千円)													
	◎源花壇整備維持管理委託			その他委託料 200													
	・年2回 春・秋植えの花苗は彩りのある景観をつくり、市民の目を楽しませる。																
	・多年草(宿根草)と1年草を組み合わせた持続可能で環境や財政面に配慮した花壇づくりを行う。																
			計 200														

1 現状把握 (DO)

① 事務事業の目的と指標

① 活動	
22年度活動実績	花苗の植え付け・バラ苗木(備補)を行い、源花壇を維持管理した。
23年度活動予定	花苗の植え付け・バラ苗木(補植)を行い、源花壇を維持管理する。
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	
市内の公共花壇や街路樹の植栽枠へ花の植栽、市内保育所や小中学校、公共公益施設等、年2回 春・秋植えの1年草花苗は彩りのある景観をつくり、市民の目をたのしませる。	
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていのか、どのように変えるのか)	
・H21年3月、(株)清月の緑地整備寄付金等を使って、源地区の公共花壇を整備したところ、源地区商工会から、同区にあるこの花壇づくりを事業の一環として取り組みたいとの申し出があった。申し出を受けH21年度から市と協働して着手しているこの事業を「みんなでまちづくり協働事業提案制度」として事業化し維持管理していく。	
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	
・自然の風景に溶け込み、心が癒されるような花壇づくりを通して、地域が活性化する。	
・市内に向けて、持続可能な花壇づくりの提案が出来る。	

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 消毒	回
イ 花の植え付け	回
ウ	
⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 参加住民数	人
イ	
ウ	
⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 花壇の面積	m
イ	
ウ	
⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 市民との協働事業参加団体数	団体
イ	

(2) 事業費・指標の推移			単位	21年度 (決算・実績)	22年度 (決算・実績)	23年度 (予算・目標)	24年度 (次年度計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)	最終 年度 (トータルコスト・目標)
年間 トータル コスト	事業費	財源内訳	千円							
		国庫支出金	千円							
		県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		一般財源	千円	284	200	200	200	200	200	
		事業費計 (A)	千円	284	200	200	200	200	200	0
	人件費	正規職員従事人数	人	1	2	2	2	2	2	
		延べ業務時間	時間	12	12	12	12	12	12	
		人件費計 (B)	千円	54	54	48	48	48	48	0
(A)+(B)		千円	338	254	248	248	248	248	0	
活動指標		ア	回		2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	
		イ	回		2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	
対象指標		ア	人		50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	
		イ								
成果指標		ア	m ²		250.0	250.0	250.0	250.0	250.0	
		イ								
上位成果指標		ア	団体		2.0	3.0	3.0	3.0	3.0	
		イ								

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	H21年3月、(株)清月の緑地整備寄付金等を使って、源地区の公共花壇を整備したところ「彩りのあるまちづくり」を事業として取組んでいる源地区商工会から、事業の一環として取り組みたいとの申し出があった。「みんなでまちづくり協働事業提案制度」として事業化することとした。22年度新規事業
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	花壇管理について、協働のまちづくり事業を取り入れた取り組みがおこなわれてきた。今後も積極的に取り入れていく。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	協働のまちづくりは、今年度責任をもって受けたが、来年度はわからない。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	☐ 取り組みしている ⇒ [内容↓] ☒ 取り組みしていない ⇒ [理由↓]
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	新規事業のため
③ H 22年度に実施した改革改善の内容	

事務事業名	源花壇咲く咲くプロジェクト協働事業	所属部	農林商工部	所属課	みどり自然課
-------	-------------------	-----	-------	-----	--------

2 評価 (Check1) 担当者による事後評価 (複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	☐ 結びついていない (見直し余地がある) ⇒ [理由 ↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 結びついている ⇒ [理由 ↓] 市民との協働事業により源花壇を管理している。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？民間やNPOに委ねることは可能か？	☐ 見直し余地がある ⇒ [理由 ↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 妥当である ⇒ [理由 ↓] 生活環境の保全を維持するためにも、税金を投入し、源地区商工会へ管理委託している。
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	☐ 見直し余地がある ⇒ [理由 ↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 適切である ⇒ [理由 ↓] 源地区商工会による管理委託が機能しているので、今後も維持・継続していくことは妥当である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 事務事業のやり方・進め方を変えることで成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	☐ 向上余地がある ⇒ [理由 ↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 向上余地がない ⇒ [理由 ↓] 源地区商工会に管理委託しているため。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	☐ 類似事務事業がある ⇒ (類似する事務事業の名称を記入 ↓) ☐ 統合・連携ができる ⇒ [理由と具体案 ↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 統合・連携ができない ⇒ [理由 ↓] ☒ 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	☐ 影響なし ☐ 影響あり ⇒ [理由と影響の内容 ↓] ☐ 休止・廃止ができる ☐ 休止・廃止できない ⇒ [理由 ↓]
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費 (コスト) を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒ [理由・具体案 ↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒ [理由 ↓] 協働事業による確認書を取り交わしている。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？ (事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	☐ 削減余地がある ⇒ [理由・具体案 ↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒ [理由 ↓] 協働事業による契約事務のため
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	☐ 見直し余地がある ⇒ [理由・具体案 ↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 公平・公正である ⇒ [理由 ↓] 協働事業により源地区商工会が受託している。

3 評価 (Check2) 担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括 (事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	源花壇咲く咲くプロジェクト協働事業については、「みんなでまちづくり協働事業提案制度」で源地区商工会との協働事業で、平成22年度から事業化されたものである。初年度の活動としては、順調に執行したという評価である。今後は、源地区商工会の活動に注視しながら、引き続きこの活動を推進していく。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性 (Check1の結果から定める)・・・複数選択可		(3) 改革・改善による方向性																						
☐ 廃止 (目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 事業統合・連携 (有効性⑤の結果) ☐ 公平性改善 (公平性⑨の結果) ☐ 休止 (目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 成果向上 (有効性④の結果) ☒ 現状維持 (全評価項目で適切) ☐ 必要性検討 (目的妥当性①、②、③の結果) ☐ コスト削減 (効率性⑦、⑧の結果)		<table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト水準</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果水準</th><th>向上</th><td>☐</td><td>☒</td><td>☐</td></tr><tr><th>維持</th><td>☐</td><td>☐</td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td>☐</td><td></td><td></td></tr></table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要				コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	☐	☒	☐	維持	☐	☐		低下	☐		
		コスト水準																						
		削減	維持	増加																				
成果水準	向上	☐	☒	☐																				
	維持	☐	☐																					
	低下	☐																						
(2) 改革改善案について																								
①協働事業を維持・継続していく。																								
②																								
③																								
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策		(5) 事務事業優先度評価結果																						
①より多くの住民に参加を呼びかける。		成果優先度評価結果	⑥																					
②																								
③		コスト削減優先度評価結果	⑨																					